

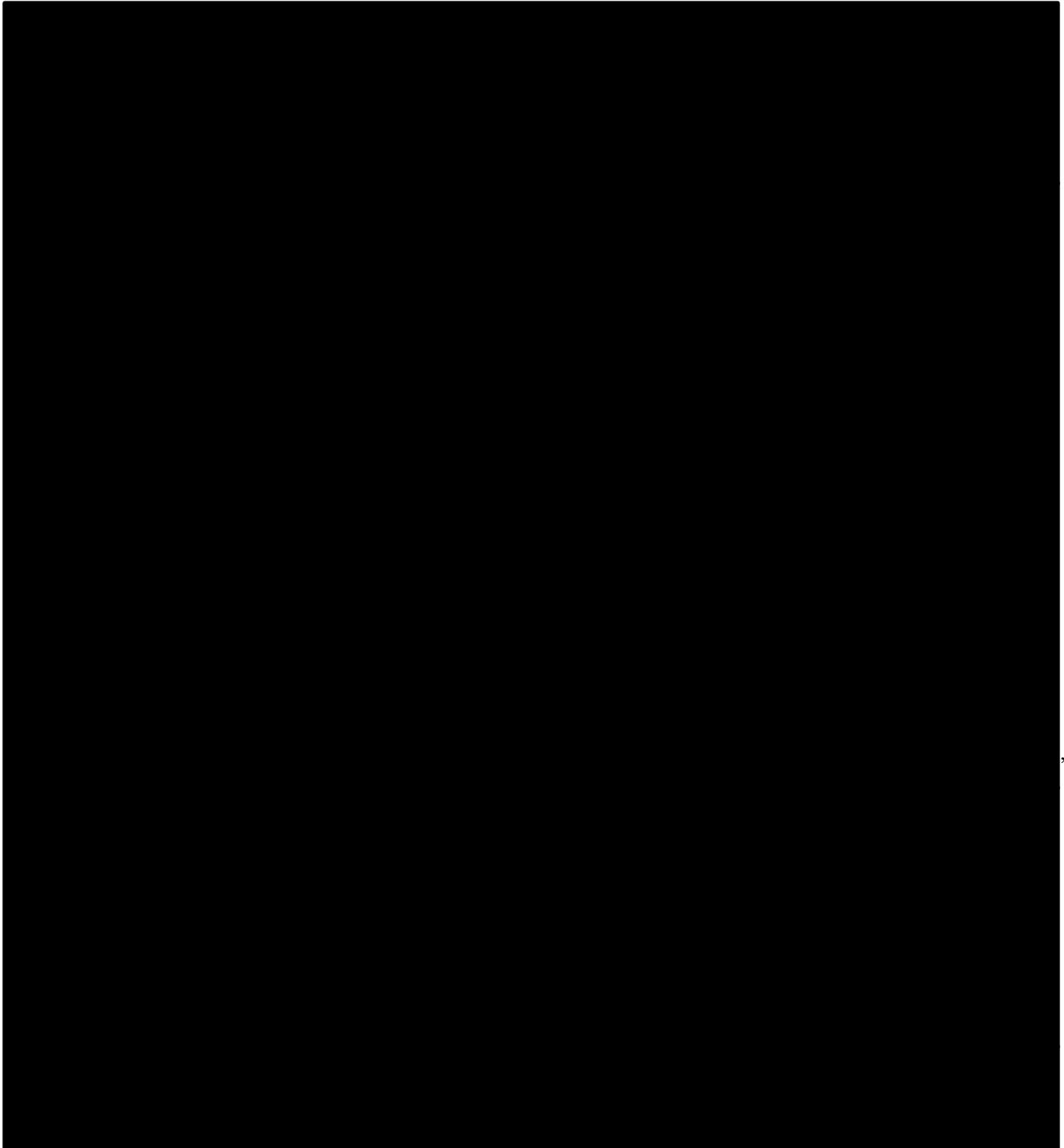
令和6年度 近畿大学 大学院商学研究科 博士後期課程

入学試験問題（英語 A）

（2024.2.17 実施）

受験番号		氏名		得点	
------	--	----	--	----	--

問題1 次の英文を日本語に訳しなさい。



（出典：Guan, Y., Arthur, M. B., Khapova, S. N., Hall, R. J., & Lord, R. G. (2019). Career

boundarylessness and career success: A review, integration and guide to future research. *Journal of Vocational Behavior*, 110, p.391.)

## 解答欄

### 解答例

バウンダリー・レス・キャリアとは、「単一の雇用環境の枠を超えた一連の就業機会」を指す概念である (DeFillippi & Arthur, 1994, p.307)。例えば、Arthur and Rousseau (1996, p. 6)は、バウンダリー・レス・キャリアの「6つの意味」を提唱している。これらの意味は、バウンダリー・レス・キャリアに従事することは、組織的、人間関係的、階層的、ワーク・ライフ的、心理的など、さまざまな種類の境界を越えることを含む可能性があることを認めている。しかし、この初期の研究は、バウンダリー・レス・キャリアを記述するための体系的な構造を提案するものではなかった。境界のないキャリアの構造と測定を明確にするために、Sullivan and Arthur (2006)は、物理的移動と心理的移動の区別を提案した。物理的移動とは、物理的な境界を越えた実際のキャリアの移動や移行を意味し、心理的移動とは、そのような移動を行うことに対する心理的志向を意味する。物理的移動は、職務（階層別、横並び）、組織、職種、産業、地理的な場所、雇用形態（失業、パートタイム雇用、フルタイム雇用、自営業など）を超えたさまざまな形態のキャリア移行によって運用することができる。本稿では、身体的移動性の多様な指標とキャリアの成功との関係について明らかにされていることを包括的に検討する。また、心理的移動とキャリア成功の関係についても検証する。そのために、Briscoe and Hall (2006)の「境界のないキャリア志向」という考え方を採用し、次の2つの側面から構成される。(a)境界のないマインドセット（現在の組織以外の人々と働くことを好む一般的な志向性）、(b)移動志向（異なる雇用主を渡り歩くことを好む志向性）。キャリアの成功は、客観的指標と主観的指標の両方によって測ることができる。客観的なキャリアの成功は、地位（例：階層的地位、昇進）、収入（例：給与）、専門的能力 (Arthur et al.) 主観的なキャリアの成功は、自分のキャリア開発に関連した達成、ワークライフバランス、健康、幸福に対する主観的評価に反映されることがある。

### 【出題の意図】

近年の主要なキャリア理論の一つであるバウンダリーレスキャリアについての文献を丁寧に読解し、その概念で用いられる基本用語およびその他の基本的なキャリアに関連する用語について理解したうえで記述できているかを意図している。